



## ロシアによるウクライナ侵攻から2年 県平和委員会24日行動

2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領は「特別軍事行動」と称して、ウクライナ侵攻を始めました。侵略戦争から2年目となる2月24日、57回目になる街頭宣伝を水戸駅南口通路でおこないました。

20日に5月中旬並みの暑さになって以降、悪天候が続いていましたが、この日は「冬日和」。「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」の田中重博会長など6人が参加。イスラエルによるガザ地区でのジェノサイド即時停止、裏金にまみれた岸田文雄政権による軍拡、「戦争準備」反対を訴えました。

この間、ウクライナ国民の4人に1人が国内外に避難し、20万人以上が死傷したと報道されています。戦時下の子どもたちにPTSD(心的外傷後ストレス障害)やパニック



## 戦時下の子どもも大人も 傷ついている

障害、対人恐怖症、うつ病が見られるという報告も。

オルガさんという47歳の女性は「私たちの人生はいつ終わるかわからない。明日はないかもしれない。私たちの人生は中断されているようだ」(2月24日付しんぶん赤旗)とインタビューに答えています。戦争

が終わらなければ、希望を語れず、人生は止まったままだということでしょう。戦争は、社会全体が暴力の応酬に巻き込まれ傷つきます。「長引く戦争」の中、徴兵逃れなど「戦争疲れ」も聞こえて来ます。

「憲法9条を守り、平和外交を進めよう」「一日も早い戦争の終結を」と力を込めてリレートークしました。

### 災害日本 それでも軍拡？ 憲法フェスティバル 実施要項発表

とき 2024年 5月3日(金) 10:30~15:30

ところ 水戸市千波公園 はなみずき広場

○参加費無料 ○雨天決行

講演 望月 衣塑子(もちづき いそこ)さん  
(東京新聞社会部記者) 13:00~  
「軍拡に突き進む岸田政権」

~民主主義を守るために私たちがやれること~

内容 テント交流企画 模擬店 沖縄物産店 他

■県平和委員会は、パネル展を計画しています！



### さよなら原発いばらきネットワーク

### 「福島ツアー」のご案内

とき 4月6日(土) 先着20名まで

\*参加費 7,500円 ※昼食は各自持参

行程 8:30 水戸駅南口(テラスザガーデン前) 出発

\*福島県・宝鏡寺で、丹治杉江さんの話を聞く

\*福島第一原発周辺を視察~

18:00 水戸駅南口(テラスザガーデン前)

着予定

\*往復のバスの中でも学習を行います。

連絡先 事務局：花山知宏まで

### 県民投票の会からご連絡

### —東海第二原発の状況と署名開始時期について—

#### ■工事が延長された場合、署名開始の時期を見直します

東海第二原発では、安全対策の防潮堤工事に大きな不良が見つかり、今年9月の工事終了が怪しい状況です。工事が延長された場合には、世話人会で話し合い、署名開始の時期を見直します。状況が分かり次第お知らせしますので、もう少しお待ちください。

お待ちの期間に、周りの方へ署名協力者の登録を呼びかけてください。よろしくお願いいたします。《2024年2月21日》



▲3/9音楽フェス

# 映画 「コヴェナント/約束の救出」 を見る

公式HPより▶



## 《はじめに》

「コヴェナント」は、「誓約、絆、約束」などと訳されます。映画は2018年、タリバン政権崩壊後のアフガニスタンが舞台。タリバンとの戦闘で負傷した米兵（ジョン・キリー）が、アフガニスタン人通訳（アーメッド）に助けられ、除隊し、帰国します。やがて、彼と家族が命を狙われていると知り、ジョンはアフガニスタンに戻り、一家を救出する物語。監督・脚本はイギリス人のガイ・リッチー（56歳）。今春2月23日から一般公開されています。

## 《アメリカの報復によるアフガニスタン軍事介入》

アメリカは「9・11」報復のために、2001年10月7日にアフガニスタンに派兵し、2021年8月に撤退。以後、再びタリバンが実効支配しています。米軍が撤収する際、出国を希望するアフガニスタン人が空港に押し寄せている映像が生々しく蘇ります。祖国に残れば、命の危険がある人々だ。その中には米軍に協力した通訳も大勢いました……。

この映画を3つの視点から見たいと思います。米兵とアフガニスタン人、そしてタリバン。ガイ監督は、アフガニスタン戦争に関するドキュメンタリー番組を見て脚本化したという。米兵は、タリバンが武器や爆弾を隠している場所を探索する部隊を率いる戦地での経験豊富な曹長。アフガニスタン通訳は車の整備士、米国への移住ビザを報酬として期待し、4か国語に堪能ながら自分の意見を主張するため煙たがられている。タリバンはイスラム教スンナ派のイスラム原理主義組織。旧ソ連の介入などによって内乱状態になった秩序を回復しようと暴力と恐怖によって国内を支配します。米英軍は、タリバンが「9・11」の首謀者を隠匿したことを理由に軍事介入します。画面には、タリバンを嫌い米兵と通訳の逃避行に味方するアフガニスタン人も登場します。

## 《ジョンとアーメッド》

映画の3分の2は、タリバンとの銃撃戦によって生き残った曹長と通訳が100kmも離れた米軍基地にたどり着くまでの苦難が見せ場になっています。途中、曹長は胸と足を撃たれ瀕死の重傷を負います。通訳は曹長を手作りの櫓に乗せ、次にピックアップトラックに乗り換え、さらに荷車に替えて悪路や急峻な山道を黙々と移動します。アーメッドは疲労困憊しながらも諦めません。その結果、ジョンは助かりますが、アーメッドは多額の賞金を懸けられます。

タリバンから逃げなければ殺されます。

ジョンは、アーメッドを救助するために、妻の理解を得て、単身でアフガニスタンに戻ります。民間軍事会社に15万ドルを支払ったにもかかわらず、手違いによって単独行動に。クライマックスは、アーメッドの妻と乳児を保護したもののタリバンに追われ、街はずれにあるダムの上で銃撃戦になります。機関銃が弾切れになったところに、米軍戦闘機と民間軍事会社のヘリコプターが間に合い、機銃掃射。タリバンの追手は壊滅します。

映画は、米軍の輸送機の中でアメリカに向かう二人の表情をクローズアップして終わります。言葉は交わさず、視線だけの会話。まさに「コヴェナント」＝タイトル通りです。

「戦場」という生死の境をくぐり抜けた二人の行動に感動しますが、彼らが生き残るために殺害したタリバンは十数人もいます。アーメッドは同国人を何人も殺し、国内の混沌とした状況にあって、表情は硬いまです。アメリカの軍事介入に疑問を感じながらも生き延びなければならない。ジョンは、米軍の規律と命令に忠実な軍人ですが、アーメッド救出のためにかつての上司に「危難を救った恩」を売り、一家の「移住ビザ」発行を約束させます。アメリカがアフガニスタンに派兵しなければ、二人は出会うこともなかったかもしれません。タリバンは米国に協力したアフガニスタン人を処刑しています。

## 《おわりに》

ブッシュ米大統領からバイデン大統領に至る20年間、アフガニスタン戦争は継続し、結局タリバン政権が復活しました。エンドロールは、米軍に協力した5万人のアフガニスタン人通訳が、現地に取り残されたままだと字幕で説明します。旧ソ連は、アフガニスタンに傀儡政権をつくったものの反政府勢力に敗れて10年後に撤退しています。アメリカも長期戦によって若い米兵の死者が増え、国内の厭戦気分や戦費負担が重くなり撤退を決意しました。力による現状変更は、憎しみと犠牲者を増やすだけです。

映画「コヴェナント」は、ジョンとアーメッドの立場や人種の違いを超えた人間の「尊厳」を映像化しています。しかし、ガイ監督が冷徹に撮影したのは弾丸やロケット弾が飛び交う「戦場」のむごたらしさと殺さなければ生き残れない「戦争」の本質だったのかもしれませんが。

《映画評 六三郎》